

協会だより

第33号

平成28年10月1日発行

福岡県立学校事務職員協会

会長の挨拶

「協会だより第33号発行によせて」

会員の皆様には、日頃より本会の運営に御理解と御協力をいただき厚く感謝申し上げます。

本年4月に発生しました熊本地震では多くの方が被災されました。心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。熊本県協会におかれましては様々な現場対応を行いながら、一ヶ月延期して第64回九州大会を実施されました。「頑張ろう熊本」「負けんばい熊本」「支え合おう九州」の合言葉で強い気持ちを感じた大会でした。

今年の夏は熱気溢れる阿波おどりの徳島において第69回全国大会が開催され、事務職員の資質向上と学校事務の充実と発展、未来を担う子どもたちのために、よりよい教育環境を目指して研究発表・参加型のシンポジウムや就学奨励費に関する班別討議がなされました。

また、リオデジャネイロで開催されたオリンピックにおいて、日本の活躍は大きい勇気と感動と夢と希望をあたえてくれました。応援に夢中になった方も多かったことでしょう。

さて、本年度から協会だよりを年2回発行することにいたしました。平成27年度から採用職種が「学校事務」から「教育行政」へと変更され、教育委員会事務局や学校において、教育行政のエキスパートとして幅広い業務に従事することになります。義務制との交流も活発になると思います。フレッシュな皆さんを御紹介いたします。一日も早く職場に慣れて即戦力として活躍されることを期待しています。

平成26年度からホームページを開設しています。情報委員会において管理更新を行っています。年度初めの御挨拶や活動目標等について掲載しております。全国公立高等学校事務職員協会にもリンクしています。ぜひご覧ください。

結びに、本会は事務職員の皆さんの働きやすい環境づくりを行うための組織です。各地区において実施される事業に積極的に参加されますようお願いいたします。私達の職場を取り巻く環境は年々大きく変化しています。事務職員の世代交代も大きく進みます。こういう時だからこそお互いに協力して研鑽を積み、教育現場を支える専門職、教育行政職員でありたいと願っています。

(会長 満生 順子)

副会長の挨拶

「御挨拶」

新学期を迎え、会員の皆様におかれましては学校行事や監査調書の準備等御多忙な日々を過ごされていることと存じます。また、協会の運営に対しまして、日頃から御支援、御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

今年度も上半期が終了しましたが、4月の熊本地震及び梅雨時の集中豪雨は甚大な被害をもたらし

ました。被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。復旧・復興に向けて日々努力されている熊本の方々の姿や、また支援のためのボランティア活動や募金を申し出る人々の優しさに深く感動いたしました。また、8月に開催されたりオ・オリンピックでは日本選手の活躍やあきらめずに最後まで全力を尽くす選手たちの姿に心を打たれました。

さて、協会だよりが今年度から年2回発行されることになりましたが、私は以前協会の理事として協会だより発行の係をしていました。その頃は印刷を外部に発注し、県庁の使送文書の棚に各学校人数分数えて棚入れをしていました。今は行コミのメール送信に変わりましたので、時代の流れを感じます。ところで、協会には3名の理事がいます。研修部、総務部、事業部と役割があり、研修部は協会と総務課共催の地区別研修会、2年に1回実施される主事・主任主事研修会のとりまとめ、総務部は会計全般を、事業部は表彰と各種調査、協会だよりの発行が主な業務になります。協会だよりを読んで協会の活動に興味をお持ちの方は、是非理事候補に名乗りをあげてください。

今年度の九州大会は、地震で甚大な被害を受けた熊本城がすぐ目の前に見える KKR 熊本で開催されました。熊本県協会の実行委員会の皆様が一致団結して、見事大会を運営されていました。元々九州協議会は「九州は一つ」という気持ちが強かったのですが、より熊本県を支えていこう、励ましていこうという団結力を感じさせられる大会でした。会員の皆様からも多数の御参加や募金の御協力をいただきまして誠にありがとうございました。

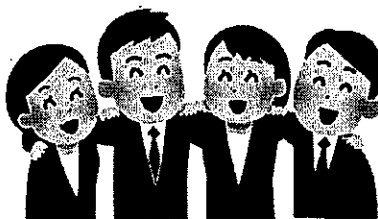
全国大会は、徳島県のあわぎんホールで「教育の改革と発展をめざして」～学校経営事務の充実～という統一テーマのもとに午前中は研究発表、午後からはシンポジウムや判別討議が行われました。徳島はお盆の阿波踊りの大会が目前に迫っており、中心街では至る所で踊りや囃子を練習する風景が見られました。

最近の大会は、以前のように一方的に発表や講演を聴くだけではなく観衆参加型のもが増えて発表者の問いかけに観衆がうちわを使って回答するなど、発表者も方言を使用したり、気楽に参加できる工夫が随所に見られ、資料を見るだけではなく体験型と変化しています。旅費不足等の問題もあるかとは思いますが、九州大会、全国大会への積極的な参加をお願いします。

地方公務員法の改正により、給与反映を前提とした人事評価制度が一般職員も平成29年度から本格的に実施されるようになり、平成30年度の昇給や勤勉手当に反映されるようになります。人事評価システムの運用も8月22日からスタートしたところです。職員の士気の高揚と主体的な能力開発・人材育成を目的として実施されるもので、それぞれの職級に応じた事務能力や実績が点数で評価されます。

協会も様々な研修を企画し、学校事務職員としての資質の向上や若手職員の人材育成に取り組んでいます。また、各種委員会、各地区研究委員会も事務の効率化・改善を目指して日々研鑽を積んでいます。今後とも協会の活動に御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様の益々の御健勝、御活躍を祈念いたします。

(副会長 武田 美余)



各 研 究 大 会 等

◎福岡県立学校事務職員協会研究発表会並びに総会

開催日 平成28年5月30日(月)

会 場 福岡リーセントホテル

【研究発表会】

特別講演

演 題 「学校職員へエールを！」

講 師 元教育庁人事管理主事

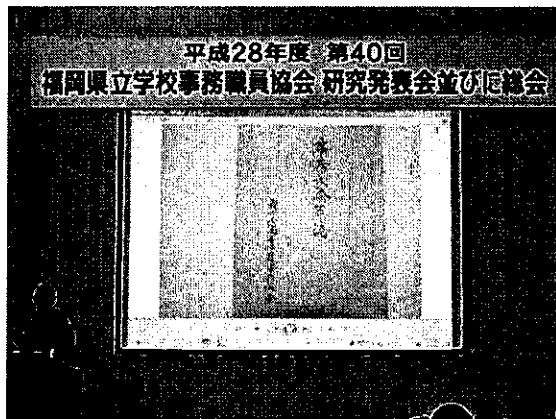
高田 秀郎 氏

職場の健康づくり支援

「音楽を用いた心と体のセルフケア」

講 師 音楽療法士

米倉 裕子 氏



今年は2件の講話が行われました。その後各研究部会と研究委員会の活動報告が行われました。

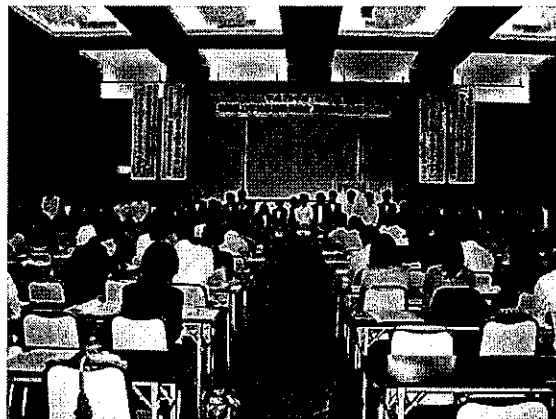
【総 会】

3名の来賓をお迎えし開催されました。福岡県教育庁辰田総務部長からご祝辞を頂きました。平成28年度新役員、評議員、選挙管理委員の紹介後、今年度も新規採用者の紹介が満生会長から行われました。議案については、提案どおり議決されました。

【その他】

昨年度の九州大会における「待ったなし世代交代～ハンドブックの作成に向けて～」について発表された北九州地区事務研究委員会の7名の方、及び旧役員3名の方に、感謝状と記念品が贈呈されました。お疲れ様でした。

平成28年度は平成29年5月26日(金)開催予定です。



◎第64回九州協議会研究大会並びに総会

開催日 平成28年7月5日(火)～6日(水)

会場 KKRホテル熊本

今年度は熊本地震の影響で期日の延期、会場及び日程の変更がありました。にも関わらず「九州はひとつ」の思いのもと九州・沖縄各県から314名(内本県57名)の参加がありました。研究発表は本県からはありませんでした。詳しい内容は大会冊子をご覧ください。永年勤続表彰においては本県から18名が表彰されました。表彰された皆様おめでとうございます。



来年度は長崎県で開催されます。

◎第69回全国公立高等学校事務職員研究大会、総会

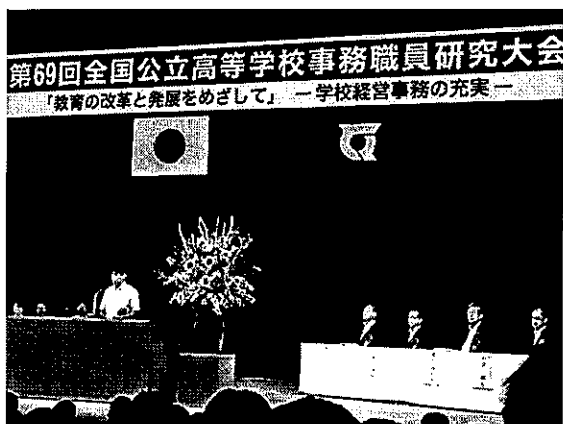
開催日 平成28年8月3日(水)～5日(金)

会場 あわぎんホール他

全国から834名の参加があり、本県からは54名の参加がありました。本県からの研究発表はありませんでした。詳しい内容は大会冊子をご覧ください。永年勤続表彰は本県から19名が表彰されました。おめでとうございます。



来年度は石川県で開催されます。



開会式



功労者表彰

◎県立学校事務職員主事・主任主事研修会

開催日 平成28年7月15日(金)

会場 福岡リーセントホテル

教育庁総務課との共催で、今年度採用された職員以外の若年層職員に対して、地区の枠を超えた研修を行うことにより、学校間の連携強化及び資質の向上を目的とする研修会で、58名の参加がありました。また、懇親会も多くの参加がありとても有意義な研修でした。

【研修内容】

1 「コミュニケーション研修」

講師 株式会社インソース
長菅 隆義 氏

班別に分かれて討論し、発表を行う形式での研修が行われました。他者理解のための「傾聴力」や、相手の心情・要望を引き出すための「質問力」をケーススタディを交えながら習得する研修内容でした。



2 フリートーク

引き続き班別形式で、仕事上での問題点や疑問点、失敗談などを自由に話し合いました。コミュニケーション研修で学んだことを踏まえ、職場で「ホウ・レン・ソウ」が足りなかったために起きた失敗談や、それぞれの職場での仕事の悩みなどを発言しあい、時間があっという間に過ぎてしまいました。

次回は、30年度に実施される予定です。

